

グローバル ナビゲータ

■「見えないもの」を「見えるもの」に

「グローバル・ハウス」では、荒俣宏氏とハリソン・ハーガン・シュミット氏のお二人を「グローバルナビゲータ」としてお迎えします。「グローバル ナビゲータ」とは、それぞれの知識や経験を元に、来館者の皆様が「グローバル・ハウス」の展示、映像を楽しむだけでなく、自らもその取り組みに参加し、さまざまな思いをめぐらせて想像力を発揮していただけるよう、手助けをし、館内をナビゲートしてくれる存在です。荒俣宏氏には「人間の想像力」という観点から、ハリソン・ハーガン・シュミット氏には「宇宙と地球の未来」という観点から館内をナビゲートしていただきます。

荒俣氏は、世界の隅々をめぐり、「人間の想像力」が達成してきたもの、想像力が及ばなかった事柄、想像もつかないような形で想像力を発揮した人たちに直に触れ、さまざまな想像力の場面を読み解いてきました。そうした経験を踏まえた展示品の解説やメッセージは「人間の想像力」について、私たちに新しい考えをもたらすものとなるはずです。

ハリソン・ハーガン・シュミット氏は、地球外の天体に立って地球を眺めることができた、たった12人の人間のうちのひとりです。中でも氏は、最後のアポロ計画において唯一、地質学者として月面から地球を眺めています。こうした貴重な体験を踏まえ、この30年の地球の歩みを振り返りながら、「宇宙と地球の未来」という観点からナビゲートしていただきます。

グローバル ナビゲータ プロフィール



荒俣 宏氏

1947年、東京生まれ。慶応大学法学部卒業後、日魯漁業に入社。コンピュータ・プログラマとして9年間余りのサラリーマン生活を送るかたわら英米の幻想文学などを翻訳しつつ、評論活動も展開。独立後は、翻訳、小説、博物学、神秘学などジャンルを超えた執筆活動を積極的に続け、数百に及ぶ著書を著し、博物学ルネサンスの日本における中心人物となる。日本文芸家協会、日本SF作家クラブ、路上観察学会、世界妖怪協会会員、日本大学芸術学部研究所教授。



ハリソン・ハーガン・シュミット 氏

1935年7月3日、アメリカ ニューメキシコ州サンタリア生まれ。1957年、カリフォルニア工科大学にて理学士号（地質学）取得後、1964年、ハーバード大学にて博士号（地質学）取得。1972年12月、アポロ17号でアポロ計画最後の月面着陸を行った。アポロ計画で月に行った12人の宇宙飛行士のなかで唯一の科学者。1976年、ニューメキシコ州選出の連邦上院議員を1期（7年間）務め、現在はニューメキシコ州アルバカーキで、科学・技術・公共政策の独立コンサルタントをしている。

